
「当院の SPECT/CT で撮像した心アミロイドーシス患者の適切な参照臓器を探索する 後方視的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で SPECT/CT 検査を行った方の結果を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究倫理審査委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2016年8月1日～2023年12月31日までの心アミロイドーシス疑いにて当院で^{99m}Tc-HMDP または^{99m}Tc-PYP を用いた SPECT/CT 施行例を対象としています。

2. 研究の目的

心アミロイドーシスの診断ツールの1つとして SPECT/CT が有用であり、本邦においては現在、放射性医薬品である^{99m}Tc-PYP と^{99m}Tc-HMDP が保険適応となっています。診断基準には視覚評価と半定量評価が用いられますが、心アミロイドーシスは心臓に限らず全身の臓器にアミロイドが沈着することが分かっており、心臓の視覚的評価や既知の参照臓器による半定量評価では限界があると指摘されています。本研究は、心アミロイドーシスの診断や重症度判定のために適切な参照臓器を探索するため、心アミロイドーシス疑いで SPECT/CT を施行された患者の複数の臓器の画像的パラメータと臨床情報を後方視的に比較検討する既存試料・情報を用いた研究です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

IRB 承認日から1カ月後。

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である松坂 陽至が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

画像データから ^{99m}Tc -HMDP または ^{99m}Tc -PYP を用いた SPECT/CT にて得られた画像パラメータ（視覚的評価、各臓器と心臓などの主要臓器の集積比、SUV 値とその比）、電子カルテから病理、採血、心電図、心エコーなどのデータを用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学国際医療センター 核医学科 講師 松坂 陽至（研究代表者）

4. 試料・情報の管理責任者

・埼玉医科大学国際医療センター 核医学科 講師 松坂 陽至（研究代表者）

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 核医学科 講師 松坂 陽至

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4147（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：当院の SPECT/CT で撮像した心アミロイドーシス患者の適切な参照臓器を探索する後方視的検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 核医学科 講師 松坂 陽至